

「八雲の怪談」～海を渡った怖い話～

無料

期間 8月18日(金)～20日(日)
時間 午前10時～午後7時
場所 小泉八雲熊本旧居
内容 小泉八雲作品(怪談)のサウンドホラー型お化け屋敷。1日に3つの物語を順番に開催する。1回あたり15分程度で講演終了後は写真撮影もできます
定員 各回20人(先着順)
申込 8月1日から市ホームページに掲載のQRコードから申し込み(電話、メール等申込不可)
 詳しくは、市ホームページで「八雲の怪談」と検索。

(文化財課 ☎096-328-2740)



～住まいに安全・安心を～

地震による住宅・ブロック塀等の倒壊から命、財産を守るとともに、安全で安心なまちづくりを実現するために、次の補助を行っています。

戸建木造住宅の耐震診断費用、耐震改修工事費用を補助します。

【対象となる住宅】

平成12年5月31日以前に着工したもの(昭和56年6月以降に着工したものは、熊本地震による被害を受けたもの)
 ※その他要件あり。

【内 容】

①耐震診断:耐震診断士が現地調査を行い、地震に対する強さを診断します。

【費 用】一戸あたり5,500円

【募集戸数】50戸程度(先着順)

【申込期間】8月7日(月)～9月29日(金)まで
 (当日消印有効)

②設計改修一括:「耐震診断」で上部構造評点が1.0未満(耐震性なし)と評価された住宅に対し、耐震診断士による補強計画設計および耐震改修工事の工事監理を行う場合、改修工事費の一部を補助します。

【補 助 額】改修工事費の5分の4以内で上限100万円

【募集戸数】30戸程度(先着順)

【申込期間】8月7日(月)～10月31日(火)まで
 (当日消印有効)

危険なブロック塀等の撤去費用を補助します。

【対象となるブロック塀等】

次の①～③のすべてに該当するもの

①避難に必要な道路等に面しているブロック塀等

②当該ブロック塀等自体の高さが60cm以上のもの

③市長が実施するブロック塀等に関する調査において、次のいずれかに該当すると認められたもの

(ア)当該ブロック塀等が面する避難路等からの高さが220cm以上のもの

(イ)当該ブロック塀等が5度以上傾いており、面する避難路等からの高さが80cm以上のもの

【内 容】

避難に必要な道路等に面している危険なブロック塀等の撤去費用を補助します。

【補 助 額】

次の①、②のいずれか低い額で最大20万円

①ブロック塀等撤去工事の見積金額の3分の2(消費税除く)

②ブロック塀等を撤去する面積(㎡)に1万5千円をかけた額の3分の2

【募集件数】65件程度(先着順)

【申込期間】12月28日(木)まで(当日消印有効)



出典:一般財団法人 消防防災科学センター「災害写真データベース」

申し込みは申請書と必要書類を原則郵送で〒860-8601住宅政策課へ。 ※詳しくは、市ホームページまたは住宅政策課(☎096-328-2449)へ。

ドン ドン 市長と語ろう! 農水産業版

開催日:令和5年(2023年)2月8日(水)

午後6時～7時

会 場:アークホテル熊本城前

後継者の育成や農産物のPR方法などをテーマに、認定農業者の皆さんと意見交換を行いました。

近年の資材高騰により、園芸施設の建設費用を含めた初期投資に多額の費用を要するため、新規就農に向けたハードルが高くなっている。

親元就農する者も含めた新規就農者への支援を手厚くしていただけないか。

後継者不足については、非常に深刻な問題と考えております。引き続き、財政面での支援を含め、新規就農者に対する支援策について、関係者の皆さんのご意見を伺いながら検討してまいります。(新規就農者への支援の拡充について国へ要望を行いました)

農産物の販売に際しては、肥料や資材などの生産コストが適正に反映されて取り引きされることが重要と考えております。今後、そのような価格の形成につながるよう農業に精一杯取り組む生産者の姿をSNS等により伝えていくことで、「農産物の価値」や「職業としての魅力」をアピールしていきます。

資材高騰等により、農業経営は非常に厳しい環境にある。農産物のPRや販路拡大に取り組む際、このような厳しい状況にある生産者の実情を伝えてほしい。

農業と他業種との連携につながる交流の場を設けていただけないか。

農業との連携に関心を持つ企業は多く、農業と他業種との連携は非常に重要と考えております。現在、さまざまな業種が交流できる場として、くまもと森都心プラザ内にビジネス支援施設「クロスポイント(XOSS POINT.)」を開設しておりますので、農業者の皆さんも積極的にご活用いただければと思います。

※内容は開催日時点のものです。